

モデル地区（青山校区）で実施したシナリオシミュレーション検討会議の流れ

モデル地区（青山校区）において実施した災害時シナリオシミュレーション検討会議の流れをご紹介します。

《検討会議のメンバー》

- | | | |
|--------------|-----------------|---------|
| • 地区連合自治会長 | • 消防団分団長 | • 老人会役員 |
| • 事業所（電気店経営） | • PTA 副会長 | • 保育園職員 |
| • 公民館長 | • 婦人（スポーツクラブ21） | |
| • 小学校教諭 | | |

検討会議の流れ

1 検討会議をすすめるために進行役、記録係を決めます

会議では、様々な意見が出るので意見の取りまとめや調整を行う進行役や出された意見を記録する記録係を決めます。



今回実施したモデル地区では、進行役は地区連合自治会長に行って頂き、進行役の補助と記録は市職員で実施しました。

2 災害の状況を想像する

はじめに、設定された場面を参加者の一人が読み上げ、参加者全員が登場人物の立場になったつもりで災害の状況を想像します。

シナリオ 1

ゆかりの自宅
地震発生直後

【場面設定】

その日は、朝からチラチラと
雪が舞っており、・・・



3 議論のポイントに基づき意見を発表する。

設定された場面のイメージが掴めたら、議論のポイントに基づき意見を発表します。
出された意見は、参加者が後で確認しやすいようにホワイトボード等に記録します。

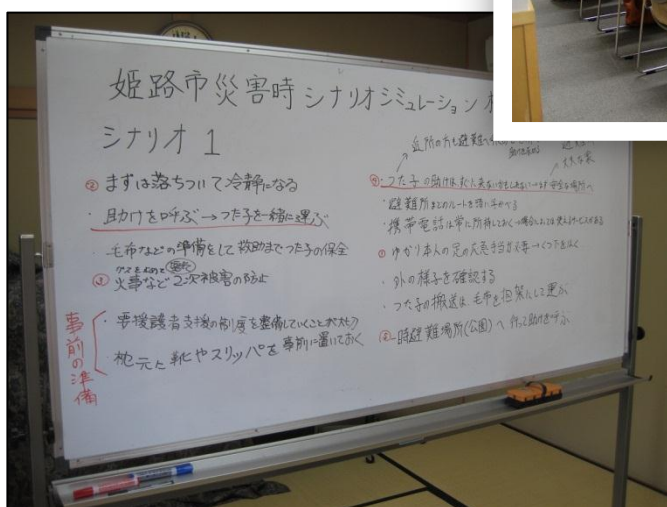
シナリオ 1

ゆかりの自宅

地震発生直後

【議論のポイント】

・ゆかりは、これからどのように行動すべきなのでしょう。



【議論のポイントに基づく意見】

- ・まずは、とにかく落ち着いて、火の気がないか確認
- ・怪我をしているので、傷の手当てをする。
- ・寝たきりの母親を避難させる。そのために、近所の方に助けを求める

など

4 意見のとりまとめ

議論のポイントについて、意見が出されたら、出された意見について進行役がまとめます。



会議では、さまざまな意見が出るので、出された意見について、主人公がどのように行動をしていくか、どのように行動すべきなのかなどの議論のポイントごとに整理します。

5 シナリオの続きを作成

議論のポイントについて出された意見の整理が出来たら、設定された場面の続きをひとつのシナリオとしてまとめます。

シナリオ 1 続編 （議論を踏まえて）

ゆかりの自宅

地震発生直後

【行動シミュレーション】

呆然としたゆかりだったが、つた子のうめき声が聞こえて・・・・・・・・